

【科目の概要】令和8年度開設科目

鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習では、現職の先生方向けに実践的で専門性の高い幼児教育についての講習を6科目実施します。

	開設科目名	科目の概要
1	幼児と環境	本講習は、幼児を取り巻く自然環境や社会環境を取り上げます。それらをふまえて、幼児の発達における環境にかかわる側面、幼児の環境へのかかわり方などについて理解するとともに、さまざまな現代的課題についても視野に入れて、専門的知識・技能を身に付けることを目標とします。
2	保育内容（人間関係）	幼児教育の基本及び領域「人間関係」のねらい・内容をふまえて、乳幼児が育つ過程における「人間関係」に関わる側面について学ぶことを目的とします。幼児が遊びや生活の中で、様々な感情を体験したり受け止めたりし、自己と他者の気持ちの違いに気づき、他者と関係を調整する力を身に付けていくための保育を行う力を身に付けます。
3	教職論	今日の自らの教師像を明確にして自己実現を図り、教職に対する情熱や使命感を高めることを目的としています。特に教職の職務内容についての認識を深め、教師に求められる資質について考察します。
4	幼児理解と保育実践の心理学	教員の実践力に不可欠である子どもの発達過程やそこで生じるつまづきに関する理解を深め、それに基づいて幼児の発達に応じた望ましい保育のあり方や環境設定のあり方を考え、具体的な水準で実践をイメージできることを目的とします。
5	教育相談論	幼稚園教諭の行う教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の方法の基礎にある理論を学ぶことを目的とします。そのため、幼児期の子どもとその家庭に関する臨床的問題の実際、及び現代の教育現場における諸問題を理解します。さらに、多様な保護者や、様々な困難を抱える子どもとのつながり方・理解の仕方の原則を理解し、園内外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を習得します。
6	子どもの理解と援助	乳幼児期の子どもの発達過程と保育・教育に関連する心理学的観点から、保育・教育実践について理解を深めます。発達を理解することの意義と手法、乳幼児期の発達過程と環境・コミュニケーション・遊び、発達に偏りのある子どもの理解と支援について講義と演習を通して学びます。